



経済

トランプ政権発足で、日本の製造業「国内回帰」へ

1月20日、米国でトランプ政権が発足し、100以上に及ぶ大統領令が発令され、大きな政策転換が行われました。米国は共和党と民主党の二大政党制で、両者の間には正反対ともいえる政策の違いがあります。そして、今回のトランプ政権の特徴は、その中核に対中強行派が並んでいることにあります。

例えば、国務長官(外務大臣にあたる)は、マルコルビオ氏であり、米議会で中国に対する厳しい対応を求めてきた中心人物です。また、議会は同盟国や関係国に対して、米国と連動する政策を取るよう求めています。既に日本でも半導体規制がその対象になっています。さらにこれが他の分野に波及するものとされています。また、中国製品に対して最大60%の追加関税を掛ける、ともしています。

日本もこの潮流に巻き込まれることを覚悟し、政治的・経済的対策を取っていくしかありません。しかし別の視点から見れば、これは製造業の国内回帰のチャンスにもなります。



トランプ大統領2期目就任演説(写真:代表撮影/ロイター/アフロ)

オンリージャパンの技術を経済活力に

前回のトランプ政権での規制方針が反映されたのが、日本やアメリカへのTSMC工場進出でもありました。では、世界最大の半導体の受託生産会社であるTSMCがなぜ日本を選んだかといえば、地理的な理由もありますが、日本でしか作れない製品(オンリージャパン)があるからです。



自民党経済安全保障推進本部他合同会議

多くの日本企業は、B to C(Business to Customer/消費者向け)から、B to B(Business to Business/企業向け)にビジネスモデルを転換しているのです。

例えば、半導体の設計図とも言えるフォトマスクは、精密印刷技術を持つ大日本印刷や凸版印刷の独壇場であり、エッチングに使う超高品質のフッ化水素も日本メーカーしか作れません。また、感光剤であるフォトレジスタも同様です。そして、変わったところと言えば、半導体の絶縁に使う特殊フィルムはアミノ酸技術を持つ『味の素』が100%のシェアを持っており、これらが一つでも欠けると、世界中の工場が止まる事になります。世界中のスマホのカメラに使われている高性能のCCDは『ソニー』が作っており、熊本で新工場建設が進んでいます。

これらの技術を守り、そして、それらを発展させた新たなオンリージャパンを生み出すこと、これこそが世界での日本の価値に繋がる経済安全保障の中核と言えるでしょう。時代の変化を見極めながら、若手議員や関係省庁とともにこの動きを支えていきます。

大麻取締法改正

大麻の取扱いや罰則が大きく変わりました

今、若者の大麻の乱用が大きな問題となっています。覚醒剤の検挙人数を初めて上回り、日本で最も乱用が多い薬物となりました。「大麻は合法」「体に害はない」といった誤った情報が広がり、特に10代や20代で使用が急増しています。

身体や心に悪影響である以外にも、組織的な大麻栽培が暴力団組織の資金源となるなど、大麻の乱用は、社会の安全に悪影響を与えてしまうのです。

大麻に含まれる成分のうち、THC(テトラヒドロカンナビノール)は脳に作用して幻覚や依存性を示すなど有害で「麻薬」に指定されていますが、CBD(カンナビジオール)は海外で難治てんかん医薬品として用いられており、日本でも治験が進められています。また、大麻草は、神社のしめ縄や横綱土俵入りのまわしなど日本の伝統文化の繊維製品として古くから用いられています。



大麻草(写真:政府広報オンラインより <https://www.gov-online.go.jp/article/202412/entry-6856.html>)

今回、大麻取締法が改正された目的は3つあります。

1つ目は、乱用防止です。大麻を「麻薬」として位置付け、「麻薬及び向精神薬取締法」で規制することで、所持や譲渡、栽培に加えて新たに「使用」を禁止し、罰則を強化しました。

2つ目は、医療用用途です。改正により、医薬品医療機器等法で承認された大麻由来成分の医薬品が医師の処方で使用可能になりました。大麻自体の合法化ではありません。

3つ目は、産業としての安定生産です。大麻草を繊維製品の原材料とする場合と医薬品の原料とする場合の栽培免許を区分し、産業を守り、違法栽培を規制します。

お知らせ

松本純の連絡先

【横浜】松本純事務所(政治団体)

代表 松本 純

松本純後援会改め松本純事務所に変更
〒231-0064 神奈川県横浜市中区野毛町2-65
Tel 045-241-7800 Fax 045-253-0585
e-mail : info-matsujun@jun.or.jp



【東京】志公会事務所

参与 松本 純

麻生太郎政策集団志公会の参与に就任
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館3F
Tel 03-6272-5771 Fax 03-3237-1181
e-mail : info-shikokai-matsumoto@jun.or.jp

